

演題募集要項

1. 申し込み資格

発表者および共同研究発表者は、九州地域放射線技師会会員（令和8年度会費納入者）または日本放射線技術学会九州支部会員および学生に限ります。発表者が非会員の場合には、非会員参加登録費 8,000 円を納めて、参加・発表を認めます。共同研究者として名前の掲載は無料です。

九州地域以外からの研究発表（技師会会員・技術学会会員・学生）は、会員と同等の参加登録費（学生・会員参加登録費）を納めて、参加・発表を認めます。

2. 演題登録期間

開始： 2026 年 5 月 18 日（月）昼 12:00～

締切： 2026 年 7 月 17 日（金）昼 12:00 迄

3. 演題募集要項

- 1) 演題登録は UMIN 演題登録システムによるインターネットオンライン登録のみです。本ページ下部の新規登録ボタンをクリックしてください。第三者からの無断削除・改竄を防ぐため原則として暗号通信をご利用ください。暗号通信がご利用できない場合（施設やプロバイダーの設定に問題があるか、ブラウザが古い）のみ、平文通信をご利用ください。
 - 2) ご利用可能なブラウザは以下のとおりです。最新のバージョンを推奨します。
 - Safari
 - Firefox
 - Google Chrome
 - Microsoft Edge
 - 3) 募演題については、基礎研究、応用研究のいずれにおいても生命倫理に十分に配慮してください。なお、研究内容の倫理問題に関しては発表者が最終責任を負うことになります。
 - 4) 応募演題について、倫理に関する確認を行います。研究内容に倫理的に問題がある場合には、演題が不採用になる場合もありますのでご注意ください。また、自施設の倫理委員会の承認を得ていても、倫理問題の最終判断は学術大会プログラム委員会（倫理審査委員会）の判断となりますのでご了承ください。
 - 5) 倫理については、大会ホームページおよび UMIN 演題登録ページをご参照ください。
 - 6) 申込時に「研究発表を行う時の倫理問題について」と「研究発表を行う方へ（倫理上の注意点）」をご一読ください。読んだ場合は「確認した」にチェックをしてください。
 - 7) 発表形式は、口述発表です。但し、演題の採択は大会長に一任させていただきます。
 - 8) 発表予稿は、図表を使用せず文字のみとし、複数行の式、特殊なフォントは使用しないでください。
 - 9) 演題名、発表者・共同研究発表者の所属機関名・氏名・住所、技術学会または技師会の会員番号、令和7年度会費納入状況、連絡先等を記載してください。
- ※入会申請中で会員番号が不明な方は「99999」を入力ください。
- 10) 発表内容は、【目的】、【方法】、【結果】、【結論】等の順に記載し、40 字×10 行（400 字以内）とします。（全角文字を 1 文字として換算）
 - 11) 登録した演題の確認、修正、削除には登録完了後に画面上に表示される登録番号とパスワードが必要です。登録番号と入力したパスワードは必ず保管しておいてください。

- 12) 登録完了メールが届かない場合は演題登録が正常に完了していない可能性がありますので、下記大会事務局までお問い合わせください。
- 13) セキュリティの関係上、演題受付番号とご自分で設定した演題パスワードの問い合わせには応じられませんのでご注意ください。

4. 申込時の注意

- 1) メールアドレスの入力ミスにくれぐれもご注意ください。連絡が取れなくなりますので、必ずご確認ください。
- 2) 新規演題登録後、受領通知を自動返信します。1週間経っても受領返信が届かない場合は、下記大会事務局までお問い合わせください。
- 3) 同一の施設より発表などが複数ある場合は、施設名を統一してください。
- 4) 申込締切以降の演題申込については、一切受理致しませんので御了承願います。
- 5) 募集要項の最新情報は、ホームページに記載しますので随時確認をお願いします。
- 6) 演題申し込みの際し、別記の「研究発表を行う時の倫理問題について」、「利益相反の公開（必須）」をお読みにになり、ご理解の上でお申込みください。

別記資料ダウンロード (PDF)

「研究発表を行う時の倫理問題について」、「利益相反の公開（必須）」(PDF：192KB)

同意書等参考資料ダウンロード (PDF、Word)

研究協力依頼書 (PDF：453KB)

研究協力依頼書 (Word：20KB)

研究協力同意書 (PDF：300KB)

研究協力同意書 (Word：18KB)

研究協力同意の取り消し通知書 (PDF：276KB)

研究協力同意の取り消し通知書 (Word：17KB)

【「研究倫理に関するご相談」のご案内】

(公社) 日本放射線技術学会九州支部では、下記の 11名が倫理問題相談員として登録されています。研究を行う上での倫理問題で、疑問点や質問があれば遠慮なくご相談ください。

http://jsrt-kyushu.org/concr5_jsrt/index.php/academicpaper/rinri/

(委員長) 藤淵 俊王(九州大学)

城生 朋顕(大分大学医学部附属病院)

村上 誠一(純真学園大学)

西郷 康正(福岡国際医療福祉大学)

上野 登喜生(福岡大学病院)

大野 剛(熊本大学)

小味 昌憲(宮崎大学医学部附属病院)

城間 哲(沖縄県立中部病院)

豊田 雅彦(鹿児島大学病院)

青山 信和(琉球大学病院)

※各相談員の連絡先はホームページを参照ください。

【演題登録、確認・修正は、ボタンより行ってください】

UMIN サイトに移動します。

※注意事項※

演題登録、および修正後は〈演題登録システム〉より確認のメールが届く設定となっています。メールが届いていない方は、メールアドレスが間違っている可能性があります。

再度ログインしてご確認をお願いします。または別のメールアドレスの登録をお願いします。

〈演題採択通知〉のメールが届かなくなる可能性があります。ご注意ください。

平文通信の利用は推奨しません。暗号通信が使えない場合のみに以下をご利用ください。

5. 申込演題の採否

- 1) 応募演題の内容が優れた場合であっても、他の関連学会や研究会ならびに地方技師会の学術大会等で発表されたもの、または明らかに内容が酷似していると判断されたものについてはプログラム委員会にて不採用の決定をする場合があります。
- 2) 研究内容に倫理的な問題がある場合には不採用となります。
- 3) 応募演題の採否、演題区分、発表形式、日時の決定はプログラム委員会で決定します。演題区分や発表形式を変更する場合がありますのでご了承ください。なお、決定後の変更は一切認められませんのでご了承ください。
- 4) **2026年8月下旬**までに演題申込者に採否を連絡します。E-mail で申込者宛に通知しますが、8月下旬を過ぎても通知がない場合は、下記までお問い合わせください。

プログラム委員

委員長： 青山 信和 実行委員長（琉球大学病院）
副委員長： 安座間 泰晴 副実行委員長（沖縄県立中部病院）
委員： 城間 哲 （沖縄県立中部病院）
杉田 洋平（琉球大学病院）
安里 昌竜（沖縄県立中部病院）
飯田 想 （沖縄県立中部病院）
大城 太陽（琉球大学病院）
安里 拓也（琉球大学病院）

倫理審査委員

委員長： 藤淵 俊王（九州大学）
委員： 城生 朋顕（大分大学医学部附属病院）
村上 誠一（純真学園大学）
西郷 康正（福岡国際医療福祉大学）
上野 登喜生（福岡大学病院）
大野 剛 （熊本大学）

小味 昌憲（宮崎大学医学部附属病院）
城間 哲（沖縄県立中部病院）
豊田 雅彦（鹿児島大学病院）
青山 信和（琉球大学病院）

6. お問い合わせ先

第21回九州放射線医療技術学会事務局
沖縄県立中部病院 放射線技術科
安座間 泰晴（副実行委員長）
E-mail : krmt2026.okinawa@gmail.com

7. 第21回九州放射線医療技術学会 一般演題募集の方法

＜演題申込から発表までの流れ＞

演題申込



2026 年 5 月 18 日 昼 12 時 ～ 2026 年 7 月 17 日 昼 12 時締切



E-mail にて本人に受領通知
（自動通知）



演題採否決定

E-mail にて採用・不採用通知
2026 年 8 月 20 日



演題発表

2026 年 11 月 14 日、15 日

研究発表に関する注意事項

【口述発表】

1. 当日受付から発表までの流れ

- 1) 総合受付で受付登録をお済ませの後、当該セッション 60 分前までに、PC 受付にて動作確認を行ってください。1 日目の第 1 セッション発表者は、総合受付を行う前に近くの実行委員まで申し出てください。尚、登録された発表用 PowerPoint ファイルは、発表終了後、実行委員会が責任を持って削除します。
- 2) 混雑を避けるため、原則として当日発表の演題だけを受け付けます。
- 3) 当該セッションの 20 分前までに、次演者席にお着きください。

2. 発表方法

- 1) 発表時間は 7 分、討論時間は 3 分です。(時間厳守)
- 2) スクリーンは、全会場とも横一面映写のみとなります。(二面映写、縦映写不可)
- 3) 発表時の PowerPoint の操作(画面切替など)は発表者が行ってください。
- 4) 発表者ツールの使用はできませんのでご注意ください。

3. 発表データについて

- 1) USB メモリーまたは CD-R とします。
- 2) 発表データは、PowerPoint 2007、2010、2013、2016 及び 2021 で作成してください。
- 3) 作成した PowerPoint ファイルは、今回発表のファイルのみ保存して下さい。なお動画ファイルがある場合は一緒のフォルダに入れてください。
- 4) 発表データは、最低でも 2 つ以上のメディアに入れてお持ちください。又、必ず事前に最新のアンチウイルスソフト等でウイルスチェックを行ってください。

【個人情報保護法について】

個人情報保護法を厳守されますようお願いいたします。データ使用の手続きや個人情報の消去などは、各所属施設の規則に則って実施してください。

【発表会場内において】

発表会場およびポスター会場では、発表スライドならびに展示ポスターの写真・ビデオなどによる記録、および発表内容の録音を禁止いたします。

座長の皆様へ

【座長の皆様へのお願い】

1. 口述発表の座長の方は当該セッション開始 60 分前までに、総合受付の「座長受付」にて受付を済ませてください。
2. 口述発表の座長の方は、当該セッション開始 20 分前までに「次座長席」に着席ください。
3. セッションの開始は、会場責任者の指示に従ってください。進行は座長に一任致しますが、当該セッションの終了時間は必ず厳守してください。
4. 座長集約の提出はありません。

研究発表を行う時の倫理問題について

本大会で発表される全ての演題は、あらゆる場合において研究対象者の生命、健康、プライバシーおよび尊厳に配慮されなければなりません。応募時には、この考えのもと演題区分を確認してください。倫理審査委員会の承認を得て行う「人を対象とした研究（研究）」、あるいは「医療の一環としての報告（報告）」のいずれに該当するかにより、求められる倫理的配慮は異なります。

1. 研究

研究を開始する前に日本放射線技術学会の「研究倫理規程ガイダンス」を確認してください。医学研究で求められる倫理的配慮について理解し、必要に応じて倫理審査委員会で事前承認を得てください。演題登録システムでは、「応募演題の倫理に関する質問」への回答を以てその適正を確認します。臨床データ（画像データ、検査結果、診断名、個人情報を含む）を用いた研究のほとんどは倫理審査委員会の承認を要する研究です。また、アンケート調査や観察者実験もその目的や手法によっては倫理審査委員会の承認を要します。

研究倫理規程ガイダンス（Ver. 10.1）

(<https://www.jsrt.or.jp/data/pdf/etc/guideline-rinri.pdf>)

研究の区分で応募された演題は、医学研究で求められる倫理的配慮についても審査します。倫理審査委員会の承認が必要であるにも関わらず応募の時点で承認を得られていない研究は、申請中であっても不採択とします。また、倫理審査委員会の承認を受けていても、演題審査で倫理的な配慮が不足していると判断する場合は不採択とします。演題登録システムには倫理承認番号の記載欄がありますので倫理審査委員会の承認を受けている場合には記載してください。なお、演題審査で倫理審査申請書の確認を要すると判断する場合には提示を求めることがあります。倫理審査委員会、あるいはその事務局等において倫理審査は不要と判断されている場合は、その返答書面等を代替とします。

2. 報告

日常の業務改善や症例報告、人を対象としないファントム実験を通じた業務評価などを「報告」として取り扱います。また、研究目的でない医療の一環と見なせる「症例報告」・「実践報告」は所属機関の長の許可を得て演題登録してください。ただし、演題審査で研究に該当すると判断した場合、あるいは医療の一環とみなすことができない「研究を目的とする報告」については応募者（発表者）の選択に拠らず「研究」として審査を行います。

応募演題の倫理承認について【重要】（必須）：

第21回九州放射線医療技術学術大会における研究発表は、日本放射線技術学会（JSRT）が定める研究倫理規程に準拠し、あらゆる場合において、研究対象者の生命、健康、プライバシーおよび尊厳が守られていなければならない。そのため、演題応募時には、以下に示す「応募演題の倫理に関する質問」に正しく回答していただく必要があります。

演題応募者は、JSRT の「研究倫理規程ガイダンス」

[<https://www.jsrt.or.jp/data/about/regulations/>]を熟読の上、応募演題に必要な倫理的対応について理解し、必要に応じて倫理審査委員会ですら前に承認を得てください。特に研究対象者の臨床データ（画像データ、検査結果、診断名、個人情報を含む）を用いた研究では、ほとんどの場合において倫理承認が必要となりますので十分にご注意ください。また、アンケート調査や観察者実験（視覚評価）においては、倫理承認の要否に関する検討が必要になりますので、研究倫理規程ガイダンスに従って対応をお願いします。倫理承認が必要である演題が応募時に倫理承認を得ていない（申請中を含む）場合は、事前審査で不採択となります。また、倫理承認を受けている場合であっても、倫理的観点から明らかに倫理に反すると判断される場合は、不採択となることをご了承ください。なお、当該研究の倫理承認番号等は、演題登録時には記載する必要はありませんが、演題審査の段階で確認を要すると判断される場合は、倫理審査申請書と共に提出していただくことがあります。また、倫理審査委員会またはその事務局において倫理審査不要と判断された場合は、倫理審査委員会からの返答が確認できる書面、あるいはその旨を伝えてきたメールを保管しておいてください。同様に提出を求める場合があります。

【応募演題の倫理に関する質問】

設問 A： 応募演題における倫理承認についてお答えください。人を対象とした研究はすべて倫理承認が必要です。

◎ 倫理審査委員会による承認を得た → 委員会の名称と承認番号を入力し **設問 B** へ

◎ 倫理審査委員会による承認を得ていない → **設問 D** へ

設問 B： 応募演題における研究では、研究対象者に対し、研究を目的とした侵襲的な行為（放射線被ばく、肉体的・精神的苦痛を伴う行為、薬剤等の投与）を行っていますか。なお、MRI のボランティアによるスクリーンを含む研究は“軽微な侵襲”のため、“侵襲的な行為を行っている”を選択してください。また、医療の一環であれば、侵襲的な行為とはみなされないため、“侵襲的な行為は一切行っていない”を選択してください。

◎ 侵襲的な行為を行っている → **設問 C** へ

◎ 侵襲的な行為は一切行っていない（「医療の一環」を含む）

設問 C： JSRT の研究倫理規程では、研究者は、研究対象者に対して、許容範囲を超える放射線被ばく、苦痛の範囲が社会的な許容範囲を超える肉体的・精神的苦痛を伴う行為、および医学的妥当性が認められない不必要な薬剤投与等の侵襲的な行為を行ってはならないとしています。なお、許容範囲などについては、倫理指針等の規則が定める倫理審査委員会等で判断するものとしませんが、この判断が学術の観点（ICRP Publication 62 などを参考）から正当な理由のもとに問題があると考えられる場合には、その審査結果を受けた対応が求められる場合があります。なお、研究対象者に対し侵襲的な行為を伴う場合は、次の3項目

のそれぞれについて記載してください。

- 1) 医学的妥当性：医学の発展にとって、その研究が必要であることの妥当性
- 2) 方法的特殊性：研究対象者に対する侵襲的な行為以外に選択肢がない
- 3) 正確なインフォームド・コンセントの取得：倫理指針の定める項目を満たす他、侵襲行為に関わる被ばく線量や生物学的影響等の正確なデータを提示した上で、研究対象者から得られたものに限る

上記の 3 項目のそれぞれについて、以下に記述してください。

医学的妥当性：(自由記載, 全角 50 文字以内)

法的特殊性：(自由記載, 全角 50 文字以内)

インフォームド・コンセントの内容：(自由記載, 全角 50 文字以内)

設問 D：応募演題が倫理審査委員会の承認を得ていない理由をお答えください。

- ◎ 倫理審査委員会に承認申請したが、倫理審査不要と判断された。
- ◎ 応募演題は、JSRT の研究倫理規程ガイダンスにおいて定義される技術研究に該当し、観察者実験（視覚評価）も本研究に含まれていない。
- ◎ 応募演題は、JSRT の研究倫理規程ガイダンスにおいて定義される技術研究に該当する。また、観察者実験（視覚評価）が本研究に含まれるが、実験データを利用し研究発表を行うことに関して、事前に観察者全員に説明し、書面にて同意を得ている。さらに、発表に際しては観察者の個人名が特定できないように配慮する予定である。
- ◎ 動物実験なので、施設の動物実験規則に基づき実施した。
- ◎ その他：(自由記載, 全角 50 文字以内)

「多重発表に関する質問」(必須)

JSRT の研究倫理規程では、「本学会が発行する印刷物および電子出版物について、既発表の論文、または他の学術雑誌に投稿中の論文と本質的に同じ論文を投稿する行為」を多重投稿と定義し、禁止されています。投稿された論文と同一の著者または少なくとも 1 名の著者が同じで、内容が同一または極めて類似した内容の論文が既に発表されている場合には、本質的に同じ論文と見なします。そして、多重投稿同様に、既発表の論文または他学術大会での既発表を、第21回九州放射線医療技術学術大会へ演題応募する場合も多重発表と見なします。ただし、特例として発表に限り、多重発表と見なされる場合であっても有益な情報が含まれている等、審査において認められる場合は、その事実を演題応募時および発表時に申告した場合においては、許容される多重発表として取り扱います。なお、第21回九州放射線医療技術学術大会は重複発表を推奨してはならず、安易な重複発表は業績の水増しになることに留意してください。

以上の点を留意の上、以下に示す多重発表の有無についてお答えください。

- ◎ 応募演題は、上記の多重発表に該当しないことを確認して応募します。
- ◎ 応募演題は、上記の多重発表に該当しますが、既発表の種別について以下に申請の上、応募します。
 - A. 既発表の種別（複数選択可）：
 - ☐ 論文 ☐ 学会発表（本学会） ☐ 学会発表（他学会）
 - B. 既発表のタイトル、雑誌名・学会名、発表年〔論文の場合は、 巻, 号, 頁等〕(自由記載)

3.【利益相反 (Conflict of Interest) の有無の公開について】

発表する研究に関連して、企業等からの補助や援助を受けている場合（金額は問いません）、または、応募演題に関係する企業の被雇用者が共同研究者に含まれる場合は、その事実を開示する義務があります。スライドの 2 枚目に必ず利益相反事項の有無のスライドを入れてください。「ダウンロード」をクリックすると ppt ファイルがダウンロードされます。

<利益相反事項あり>

プレゼンテーションダウンロード



<利益相反事項なし>

プレゼンテーションダウンロード

